

水稲用初・中期一発処理除草剤

バットウZ[®]

フロアブル



クログワイ



ホタルイ



オモダカ

クログワイ・抵抗性ホタルイ・
オモダカなどの
難防除雑草に安定の効果!

難防除雑草に加え、畦畔から侵入するイボクサや、
3葉期まで成長したノビエにも高い防除効果を発揮します。

- 難防除雑草や畦畔から侵入する雑草の防除に高い効果を発揮。
- 3つの有効成分が効く。

① ピラクロニル ② プロピリスルフロン ③ ベンゾビシクロン

バットウZ フロアブル

○難防除雑草や畦畔から侵入する雑草の防除に高い効果を発揮。

○3つの有効成分が効く。

- ① ピラクロニル ② プロピリスルフロン ③ ベンゾビシクロン

適用と使用方法

2021年2月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツパイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ウリカワ、ミズガヤツリ、ヒルムシロ、 セリ、エゾノサヤヌカグサ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500mL /10a	1回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機による 滴下
直播水稲	一年生雑草 及び マツパイ、ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ	3葉期まで
ヘラオモダカ	2葉期まで
ミズガヤツリ	草丈20cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生期まで
エゾノサヤヌカグサ	発生始期まで
オモダカ クログワイ	発生前から 発生始期まで
コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・ 藻類による 表層はく離	発生始期まで

ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	2回以内	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	2回以内	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	3回以内
-------------------	------	----------------------	------	---------------------	------

上手な使い方 [散布量/10a当り500mL (1本)]

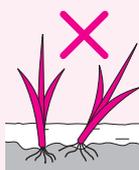
均平化作業・植付けはていねいに!

田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・薬害の原因になることがあります。



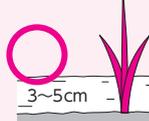
移植深度は適正に!

極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。



散布時の注意!

散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。



散布後の注意!

散布3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 原液湛水散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ② 滴下に当たっては散布装置のノズルを取り外してください。
 - ③ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
 - ⑥ 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - ⑦ 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬液散布には使用しないでください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R3C21B126:HP

2021年3月作成 (博報堂プロダクツ)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川12丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

